

定期テストを終えて2 努力と成長について

以前（令和6年7月）の学校だよりでもお話ししましたが、今日は「努力と成長の関係」について、皆さんに伝えたいと思います。多くの人は、努力と成果の関係を「努力すれば、その分だけすぐに結果が出る」という正比例のグラフのように考えがちです。つまり、**図1**の様に、努力をすればするほど、一直線に成果が伸びていくイメージです。しかし、実際の努力と成長は、そのような単純なものではありません。

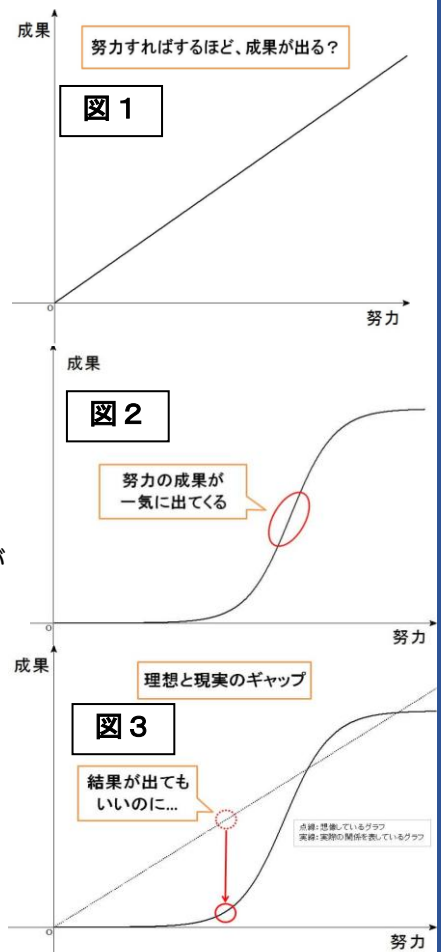
実際の「努力と成長の関係」は、次の**図2**のような形をしています。はじめのうちはどれだけ努力しても、なかなか成果が見えない状態が続きます。このグラフが示しているように、努力を始めたばかりの時期には、成果はほとんど表れません。そのため、「自分のやり方が間違っているのではないか」「努力しても意味がないのではないかと不安になることがあります。しかし、これは決して間違った状態ではありません。効率よく努力を続けていたとしても、結果として表れてくるまでには時間がかかるのです。皆さんの中には見えなくても、確実に力は積み重なっています。

そして、努力を続けていくと、**図2**のOのようにある段階から急に成果が表れ始めます。それまでなかなか結果が出なかったことが嘘のように、「わかる」「できる」という実感が増えていきます。これは、これまで積み重ねてきた努力が形となって現れてきた瞬間です。言い換えれば、見えないところで蓄えられていた力が、一気に表に出てくるのです。

大切なのは、この「成果が出るまでの時間」をどう過ごすかです。正比例のグラフをイメージしていると、**図3**のような現実とのギャップに苦しみ、「もうやめてしまおう」と考えてしまうことがあります。しかし、実際の成長はこの曲線の通りに進みます。だからこそ、成果が見えない時期であっても、自分の取り組みを信じて努力を続けることが重要です。

成功するかどうかの分かれ道は、とてもシンプルです。それは「成果が出るまで、努力を続けられるかどうか」です。成果が見えない段階でやめてしまえば、成長のカーブが上向き前に止まってしまいます。しかし、そこを乗り越えて続けた人だけが、大きな伸びを実感することができます。

皆さんには、どうか焦らず、他人と比べず、自分の努力を信じてほしいと思います。努力はすぐには形にならなくても、必ず皆さんの力となって積み重なっています。そして、ある時必ず、それが成果として表れてきます。「継続は力なり」という言葉を大切に、日々の取り組みを続けていきましょう。



第1回定期テストをふり返って みなさんの学びを教えてください！

第1回定期テスト、お疲れさまでした。それぞれが目標に向かい、日々の授業や家庭学習に真剣に取り組んだことと思います。本校では、「主体的に学ぶ力」を大切にしています。そこで、今回の定期テストに向けた皆さんの学びを振り返り、次のことについてぜひ教えてください。

- 学習効果が上がったと感じた勉強方法
(例：計画の立て方、ノートまとめ方、繰り返し学習など)
- 「これをやってよかった!」と感じた経験
- 今後も続けたい学習習慣

皆さんの声は学校だよりで紹介し、全校で共有する予定です。
友だちの工夫を知ることで、新しい学びのヒントにもつながります。

募集期間 6月22日(月)～6月25日(木)

投稿方法 Forms (QRコードから入力してください) →→→→→

短い文章でも構いません。皆さんの率直な声を楽しみにしています。今回の振り返りを、次の学びへとつなげていきましょう。

